

## ファーストエイド研修募集要項

【日時】2018年8月11日（土）9：00～16：00

\*研修終了後、フィードバックを兼ねた懇親会も予定しています。ぜひご参加ください。

【場所】日本体育大学横浜健志台キャンパス（田園都市線青葉台駅よりバス10分）<https://www.nittai.ac.jp/access/yokohama.html>

【主催】NGO 安全管理イニシアティブ (JaNISS) / 災害人道医療支援会 (HuMA)

【協力】日本体育大学保健医療学部救急医療学科

【講師】甲斐聡一朗医師 (HuMA, 兵庫県災害医療センター救急副部長)、久野将宗医師 (HuMA, 日本医科大学多摩永山病院救命救急センター講師)、鈴木健介救急救命士 (HuMA、日体大准教授)

【内容】「途上国におけるファーストエイド：心肺蘇生法及び外傷対応・止血を中心に」：講義・ワークショップと実技研修、参加者との質疑応答

【対象】途上国で実施の事業に携わる NGO のスタッフ（役員、職員、専門家、ボランティア等身分は問いません）

\*過去に途上国で活動中にファーストエイドについて何らかの経験をして、課題や教訓をフィードバックして頂ける方、今後日本で行うべき NGO スタッフ向けの研修を一緒に作り上げていきたいと考える方の参加を歓迎します。

\*一団体から複数名参加も可能ですが、定員に達した場合は、各団体の応募者について優先度をつけて頂く場合があります。

【定員】50名

【参加費】3,000円

【交通費支給】関東以外に本部を置く団体から参加の場合、必要に応じて交通費の支給が可能です。希望する団体はその旨ご連絡ください。希望者が予算を超えている場合は、地域のバランス、団体の活動分野、参加者の経験を考慮の上で、選考させていただきます。

【申し込み締め切り】2018年8月3日（金）（定員に達し次第締め切ります）

【申し込み方法】以下のウェブサイトよりお申し込みください。

<https://kokucheese.com/event/index/529921/>

【概要】

JaNISS (NGO 安全管理イニシアティブ) と HuMA (災害人道医療支援会) は、途上国で活動する NGO 向けのファーストエイド研修が従来実施されておらず、その需要が高いことを背景に、日本体育大学保健医療学部救急医療学科の協力のもと、新たに研修を企画しました。

第 1 回となる今回の研修では、どのような環境でも最低限必須となる心肺蘇生法と外傷対応・止血、及び救急時の記録のとり方について基礎的な知識・技能の習得を目指します。レベルは参加者の経験も考慮しつつ、初回は初級・中級を想定しています。そして、NGO スタッフが各地域で直面する、もしくは過去に経験したファーストエイドに関する課題や疑問を共有していただく場にして、今後さらにニーズに合致した研修を開催していく予定です。

実施体制として、今回医師 2 名、救急救命士 1 名の専門家に指導していただくため、参加者の経験と課題に的確に対応した、充実した研修が期待できるものと考えています。

今後法的・医学的に十分に考慮され、日本の NGO スタッフが学ぶのに妥当な研修の中身を作り上げるため、NGO の皆さんの現場での課題や疑問等を共有してもらい、議論しながら第 2 回以降の研修の枠組みを形作っていただければと考えています。

ファーストエイド未経験の方も参加可能ですが、個人として、また団体としての課題を明確化した上で、参加頂けると、より実りのある研修になることと思われます。

各地域の各団体から、皆様の積極的なご参加をお待ちしています。

以上